

GGCC カルチャーサロン

昨年11月7日オープニングのあと、12月12日までの毎週月曜日午後6時からPrahranにあるGrattan Gardens Community Centreで文化サロンが開かれました。手探り状態から始めましたが、講師の先生方の熱意、興味を示す人々の思惑が一致し、楽しいサロンの幕開けとなりました。夏の休暇のあと、今年も引き続き2月6日よりリフレッシュして、内容もさらに充実したプログラムでスタートしています。皆さまのご参加を一同お待ちしております。

午後4時から6時までは教室、7時から9時まではバラエティータイムと、幅広い文化交流がねらいです。毎日の忙しい生活の中で、ふと思うことをメモにしておかれると、短歌やエッセイのヒントが生まれます。文化教室は敷居が高い！と思われがちですが、学ぶことは幾つになっても大切な事ですし、それが楽しみながら出来れば最高だと思います。上手に作ろうと思わず、ありのままを綴れば、暖かいメッセージが相手に伝わります。短歌のように57577に、思いをめぐらせることは容易なことではありませんが、たくさん歌を詠めばおのずと要領がわかってきます。そして何より強い味方は、伊藤さとさんが優しくアドバイスをしてくださることです。



エッセイ教室は、自分史を書こうと久保田満里子さんから言われ、これは自分の人生を見直すこと、これからの人生を見つめなおすことに大変役立つ名案だと思いました。誰かに読んでもらうというより、自分の生きた証、家族へのプレゼントとして書かれてはいいでしょう。

手先の不器用な私でも、親切に手ほどきをしてくださる手芸教室の伊藤玲子さん。編み物なら右に出る人はいないくらい、早く器用に編んでしまう手芸名人です。そのうち唆して、玲子さん本職の草月流の生け花の手ほどきも受けようと思っています。

手先の不器用な私でも、親切に手ほどきをしてくださる手芸教室の伊藤玲子さん。



藤玲子さん。編み物なら右に出る人はいないくらい、早く器用に編んでしまう手芸名人です。



そのうち唆して、玲子さん本職の草月流の生け花の手ほどきも受けようと思っています。



バラエティータイムは、デービス啓子さんが自前のカラオケセットを持ってきてくれ、GGCCのテレビに接続して、即席カラオケボックスの出来上がり。そのカラオケをBGMまたは騒音として背中に受けながら、四人が伊藤修さんの手ほどきを受けて麻雀をします。先週はアドバイスを受けた、生まれて初めて麻雀パイをさわったという方が、親の連荘で一人勝ち。私は子供の時に父親に手ほどきを受けて、自称麻雀暦50年のはずが、いいカモにされて目も当てられませんでした。負ける人がいるから、勝つ人がいる。当たり前のことですが、勝ち負けは時の運！今日は負けても、いつかはきっと勝つ。そんな希望に胸を膨らませて、9時のお開きにも笑顔で片づけを手伝い、家路に向かいます。



3月からは習字教室が始まります。昨年般若心経のお話と写経のセミナーをしてくださったロウ弘子さんが、日本で色々材料を仕入れたり、構想を練りながら開講を楽しみにしてられます。

台数制限はありますが、GGCCの専用駐車場に、車も無料で停められますので、是非お気軽にお出かけください。

会員は4時から9時までいらしても\$3です。

(新ヶ江英子 記)



バラエティータイム



短歌投稿

- ・木漏れ日の 木々のトンネル 通り抜け
柔らかき朝日 浴びて和まむ (高山)
- ・恋しくは 母の乳なり 信勝め
何ゆえなんじは ひとりじめか (小紋寿)
- ・陽炎の 揺らめく大地 東の間 (つかのま) の
クールチェンジで すずむし鳴く (ゆき)
- ・木の葉打つ ひと雨ごとに 肌寒さ
ひぐらし告げる 秋の夕暮れ (英湖)